

第
73
回

都市計画全国大会 (群馬大会)

オンライン開催プログラム

10/28 [木]
2021

10:00 開会

会場：Gメッセ群馬
(群馬県高崎市)



大会プログラム

開会式 [10:00]

- 開会宣言 群馬県土木整備部長 清水 昭芳
- 主催者挨拶 公益財団法人都市計画協会会長 原田 保夫
- 開催県挨拶 群馬県知事 山本 一太
- 開催市挨拶 高崎市長 富岡 賢治
- 来賓祝辞 国土交通大臣 斉藤 鉄夫

表彰式 [10:20]

- 第36回都市計画協会会長賞
- 第57回土地地区画整理阿部功労賞
- 第42回公園緑地折下功労賞

全体会議 [11:00]

- 議長選出
- 主報告 『都市行政をめぐる最近の動きについて』
国土交通省大臣官房審議官 望月 一範
- 部会長選出

休憩（昼食）[11:50]

部 会 [13:00]

- 【第1部会】テーマ
『ウォークブル、ニューノーマルなまちづくり』
- 【第2部会】テーマ
『歴史的風致の形成によるまちづくり』
- 【第3部会】テーマ
『防災・減災を主流化したコンパクトなまちづくり』

全体会議 [15:00]

- 部会長報告

記念講演 [15:40]

- 『ポストコロナの都市政策』
講演者 明治大学政治経済学部 教授 野澤 千絵

閉会式 [16:40]

- 次期開催県挨拶 長崎県土木部長 奥田 秀樹
- 閉会宣言 高崎市副市長 兵藤 公保

表 彰 式

10:20

第36回都市計画協会会長賞

受賞都市

前橋市

官民が一体となった再開発による
魅力あるまちづくり

中心市街地への都市機能誘導を図るため、立地適正化計画の策定やJR前橋駅北口地区市街地再開発事業を進めるとともに、民間と連携した施策を展開している。官民が一体となってまちづくりを進めるこれらの取組は、魅力ある中心市街地の形成に寄与するものである。



高崎市

広域交通拠点である高崎駅周辺を
中心とした交流創造都市づくり

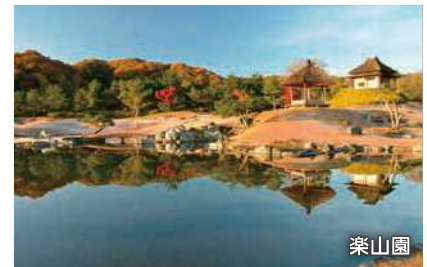
広域交通の拠点性を活かした交流創造都市を目指し、高崎駅周辺において、大規模集客施設の整備をはじめ、回遊性を高める都市基盤の整備や、まちなか居住の推進などの取組が進められている。都市の価値を高めるこれらの取組は、持続可能な都市の発展に寄与するものである。



甘楽町

『歴史まちづくり法』に基づく
まちづくり

歴史的風致維持向上計画に基づき、都市再生整備計画事業等の推進や、歴史的建造物等を一体的に保存・活用する取組を町全体で進めている。貴重な歴史や文化を活かすこれらの取組は、活力と賑わいのあるまちづくりに寄与するものである。



第57回土地地区画整理阿部功労賞

第42回公園緑地折下功労賞

- 議長選出
- 主報告 『都市行政をめぐる最近の動きについて』 国土交通省大臣官房審議官 望月 一範
- 部会長選出

第1部会 テーマ『ウォーカブル、ニューノーマルなまちづくり』

人口減少、少子高齢化が進展し、地域の活力低下が懸念される中、都市の魅力向上させ、まちなかににぎわいを創出することが、多くの都市において課題となっている。

まちなかににぎわいを創出するためには、まちなかに多様な人々が集い、交流する「居心地がよく歩きたくなる」ウォーカブルな空間を形成し、官民連携によるゆとりとにぎわいの創出が求められている。

また、新型コロナウイルス感染症拡大を契機として、オープンスペースの充実や、職住近接のニーズの高まりにも対応したニューノーマルなまちづくりを推進していく必要がある。

特に、空間同士をつなぐ交通結節点である駅や駅周辺の再構築をエリアマネジメントと併せて推進していく必要がある。本部会では「ウォーカブル、ニューノーマルなまちづくり」に着目して、各地の取組事例を参考に意見交換を行う。

報告1 前橋市アーバンデザインによる官民連携まちづくり

群馬県前橋市都市計画部市街地整備課 C C R C ・計画推進室 副参事兼室長 額瀬 正樹

報告2 岡崎市のウォーカブル、ニューノーマルな公民連携まちづくり「QRUWA戦略」

愛知県岡崎市都市政策部都市施設課 係長 中川 健太

報告3 歩いてつなぐ都市空間の賑わい

福井県福井市都市戦略部 副理事 牧野 聖一

コメンテーター 国土交通省都市局まちづくり推進課 官民連携推進室長 小路 剛志

第2部会 テーマ『歴史的風致の形成によるまちづくり』

我が国には、歴史的な面影を残すまちなみや、地域の歴史及び伝統を反映した人々の活動と、その活動が行われる歴史的に価値の高い建造物がある。「歴史的風致維持向上計画」により、その周辺の市街地が一体となって形成してきた良好な環境が維持されている地域は、地域を代表する建造物やまちなみを活かしたまちづくりを行うことで、優れた景観が保全され地域活性化にも寄与されることが考えられる。

本部会では、地域の特色を活かした「歴史的風致の形成によるまちづくり」について、各地の取組事例を参考に意見交換を行う。

報告1 甘楽町歴史的風致維持向上計画によるまちづくり

群馬県甘楽町建設課 主事 土屋 和樹

報告2 歴史的な資源を活かしたまちづくり

愛媛県内子町町並・地域振興課 係長 西岡 真貴

報告3 ひと・にぎわい・まちをつなぐ新たな歴史まちづくり

熊本県熊本市都市建設局都市政策部都市デザイン課 主査 木下 皓一郎

コメンテーター 国土交通省都市局都市計画課 環境計画調整官 脇坂 隆一

第3部会 テーマ『防災・減災を主流化したコンパクトなまちづくり』

近年、頻発化・激甚化する自然災害への対応と持続可能で魅力あるまちづくりの両立が喫緊の課題となっており、防災・減災を主流化した安全でコンパクトなまちづくりに向けた取組を進めていくことが重要となっている。

本部会では、「防災・減災を主流化したコンパクトなまちづくり」に向けた課題や対応について、各地の取組を参考に意見交換を行う。

報告1 浸水想定を踏まえたコンパクトなまちづくり 群馬県館林市都市建設部都市計画課 技師 遠藤 千晃

報告2 防災指針を活用した災害対応型まちづくりの推進にむけて
岡山県倉敷市建設局都市計画部都市計画課 課長補佐 阿部 慶幸

報告3 久留米市立地適正化計画の改定 ～防災指針の策定～
福岡県久留米市都市建設部都市計画課 主査 松尾 毅輝

コメンテーター 国土交通省都市局都市計画課 施設計画調整官 新屋 千樹

..... 全 体 会 議 15:00

● 部会長報告

..... 記 念 講 演 15:40

演題『ポストコロナの都市政策』



講演者

明治大学政治経済学部
教授 ^{のざわ ちえ}
野澤 千絵 氏

◆専門

都市政策・住宅政策・土地利用

◆学位

工学博士(東京大学)

◆経歴

大阪大学基礎工学部 卒業
大阪大学大学院工学研究科修士課程 修了
ゼネコン勤務後、東京大学大学院都市工学専攻
博士課程で博士号(工学)を取得
2002年4月～ 東京大学先端科学技術研究センター
特任助教
2006年4月～ 東京大学大学院都市工学専攻
非常勤講師
2007年4月～ 東洋大学理工学部建築学科 准教授
2015年4月～ 東洋大学理工学部建築学科 教授
2020年4月～ 明治大学政治経済学部 教授

◆最近の研究テーマ

ポストコロナの都市政策・住宅政策に関する研究
人口減少・災害多発時代の土地利用コントロールに
関する研究
住宅・都市機能の立地誘導手法に関する研究
ほか

◆主な活動

日本都市計画学会理事(2021年6月～)
内閣府都市再生懇談会委員
(2020年12月～2021年6月)
国土交通省社会資本整備審議会(都市局)委員
(2017年2月～2020年10月)
群馬県「都市計画区域マスタープランにおける
土地利用方針検討会」委員(2018年度)
ほか

◆主な著書

『都市計画の構造転換 整・開・保からマネジメントまで』
日本都市計画学会編著(分担執筆)(2021年)
『老いた家 衰えぬ街 住まいを終活する』
講談社現代新書(2018年)
『老いる家 崩れる街 住宅過剰社会の末路』
講談社現代新書(2016年)
ほか

(参考)開催年及び開催都市

第1回	昭和9年	静岡市
第2回	昭和10年	福岡市
第3回	昭和11年	富山市
第4回	昭和12年	札幌市
第5回	昭和26年	名古屋
第6回	昭和27年	大阪市
第7回	昭和28年	横浜市
第8回	昭和29年	富山市
第9回	昭和30年	広島市
第10回	昭和32年	東京都
第11回	昭和33年	伊勢市
第12回	昭和35年	姫路市
第13回	昭和36年	長崎市
第14回	昭和37年	仙台市
第15回	昭和38年	徳島市
第16回	昭和39年	名古屋
第17回	昭和40年	札幌市
第18回	昭和41年	水戸市
第19回	昭和42年	東京都
第20回	昭和43年	伊東市
第21回	昭和44年	下関市
第22回	昭和45年	大阪市
第23回	昭和46年	福島市
第24回	昭和47年	別府市
第25回	昭和48年	金沢市
第26回	昭和49年	山形市
第27回	昭和50年	岡山市
第28回	昭和51年	福岡市
第29回	昭和52年	新潟市
第30回	昭和53年	盛岡市
第31回	昭和54年	高松市
第32回	昭和55年	鳥取市
第33回	昭和56年	宮崎市
第34回	昭和57年	大津市
第35回	昭和58年	長野市
第36回	昭和59年	前橋市
第37回	昭和60年	和歌山市
第38回	昭和61年	熊本市
第39回	昭和62年	宇都宮市
第40回	昭和63年	岐阜市
第41回	平成元年	北九州市
第42回	平成2年	堺市
第43回	平成3年	青森市
第44回	平成4年	松山市
第45回	平成5年	甲府市
第46回	平成6年	福井市
第47回	平成7年	宜野湾市
第48回	平成8年	東京都
第49回	平成9年	浜松市
第50回	平成10年	神戸市
第51回	平成11年	鹿児島市
第52回	平成12年	秋田市
第53回	平成13年	富山市
第54回	平成14年	高知市
第55回	平成15年	さいたま市
第56回	平成16年	佐賀市
第57回	平成17年	名古屋
第58回	平成18年	千葉市
第59回	平成19年	京都市
第60回	平成20年	松江市
第61回	平成21年	仙台市
第62回	平成22年	広島市
第63回	平成23年	札幌市
第64回	平成24年	奈良市
第65回	平成25年	水戸市
第66回	平成26年	周南市
第67回	平成27年	金沢市
第68回	平成28年	大分市
第69回	平成29年	盛岡市
第70回	平成30年	宮崎市
第71回	令和元年	新潟市
第72回	令和2年	高松市
第73回	令和3年	高崎市

問い合わせ先

第73回都市計画全国大会運営事務局 (群馬県土整備部都市計画課内)

〒371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1

TEL 027-226-3654

FAX 027-221-5566

E-mail keikakuka@pref.gunma.lg.jp

群馬県の都市計画事業等のご紹介

大会第2日目(10月29日(金))に予定していた現地調査での視察先をご紹介します。現地調査では、①西毛コース、②北毛コース、③東毛コースの3コースを予定していました。

なお、各コースの視察先について配信動画(プロモーション動画)を作成しましたので、こちらもぜひご視聴ください。

配信④ プロモーション動画

<https://youtu.be/tFA8qna9UTg>



1 西毛コース(富岡市・甘楽町方面)

◆富岡製糸場(世界遺産)(富岡中央地区都市再生整備計画事業)【富岡市】

富岡市の中心市街地である富岡中央地区は、明治5年創業の旧官営富岡製糸場とともに生まれた飲食店や長屋が集積し、商業地域として繁栄してきました。富岡製糸場の世界遺産登録にふさわしい街並み景観形成を図るとともに、来街者が楽しみながら街なかを回遊できる道路整備を推進しました。また、人々が集う玄関口となる上州富岡駅と、富岡市の歴史と文化の中心である富岡製糸場をつなぎ、求心力のある中心市街地を形成するために、都市基盤、フリンジ駐車場、公共公益施設、居住機能の整備を図り、中心市街地の活性化を進めてきました。



◆上州富岡駅(富岡中央地区都市再生整備計画事業)【富岡市】

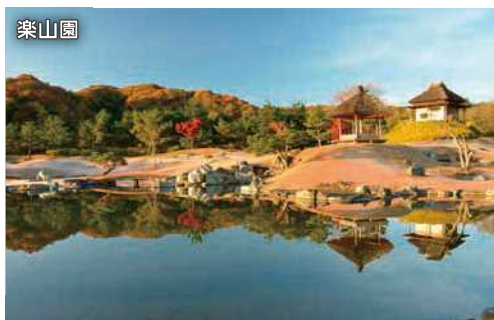
上信電鉄上州富岡駅は、富岡製糸場を核とした富岡市の観光拠点の玄関口として、色合いの差別化を図ったレンガで構成された駅及び駅前空間です。大きな半外部空間を生み出すための水平屋根を設置し、駅前広場に集う様々な人々の居場所や、駅舎・トイレなどの利用しやすい空間を整備しました。製糸場の木骨レンガ造を継承した、鉄骨とレンガを組み合わせた「鉄骨レンガ造」という新たな構造形式を用い、耐震性、耐火性を向上させた駅舎であり、レンガ壁はホーム側が高く、北風を防ぐ役割を果たしています。

同色のレンガで周辺の整備も統一し、駅とまちが一体となった特色のある街並みづくりに配慮しました。



◆名勝 楽山園(甘楽町小幡地区都市再生整備計画事業)【甘楽町】

甘楽町の中心に位置する小幡地区は、元和元年(1615年)に織田信長の次男信雄が大坂夏の陣などの功績により徳川氏から2万石を^{のぶかつ}与えられた城下町であり、織田氏8代、松平氏4代にわたって治められた地です。地区内にある名勝楽山園は3代信昌^{のぶまさ}の時代に造営されました。甘楽町では、名勝楽山園と一体となった武家屋敷地区の町並み、歴史的水路である雄川堰や、この雄川堰沿いに連立する養蚕農家の歴史的建造物等の歴史資源を保存・活用し、地域活性化を図っていくことを目的に、歴史まちづくり法に基づく歴史的風致維持向上計画を策定し、平成22年3月に全国で16地域目となる認定を受けました。現在、同計画に基づき、「小幡城下町地区(207ha)」を重点区域と定め、歴史資源を活かしたハード、ソフト両面からの様々な取組を展開しています。



2 北毛コース(渋川市・長野原町方面)

◆伊香保石段街 (伊香保地区都市再生整備計画事業) 【渋川市】

伊香保温泉は、戦国時代に築造された石段街を中心に、近世においてつくられた温泉街で、日本初の「温泉都市計画」と言われています。古くから幾多の文人墨客に愛されてきた群馬県を代表する温泉地です。

高度経済成長期から観光客数は増え、順調に発展を遂げてきましたが、バブル期以降は減少していました。このため、温泉地全体の魅力を高めるとともに、伊香保温泉の集客拠点である石段街に賑わいを取り戻すため、平成16年度から平成25年度にわたり伊香保温泉再生事業を実施し、道路や広場などの基盤整備を行いました。

石段街は主要道路から奥まった位置にあるため、観光客からわかりにくく、主要道路までの延伸整備は長年の懸案となっていました。延伸された部分は、頂上の伊香保神社まで365段続く石段街のメインゲートとなり、温泉水が流れる「湯滝」や広場も設けられ、伊香保温泉のシンボリックな場所となっています。

伊香保石段街(広場)



伊香保石段街

◆ハッ場ダム【長野原町】

ハッ場ダムは、利根川の氾濫による洪水被害を防ぐとともに、首都圏の人たちの生活用水や工業用水を確保するため、昭和27年に建設省(国土交通省)が、長野原町と東吾妻町の町境に計画した国直轄の多目的ダムです。

ダム建設に伴い、470世帯や川原湯温泉街全体が移転を余儀なくされることとなり、国・県・町が連携して、水没地域住民の生活再建の場である代替地(現地ずり上り方式による造成地)における新たなまちづくりを進めるなど、これまでのダム事業では例のない規模で、生活再建事業と地域振興事業を推進してきました。

そして、多岐にわたる水没地域住民との話し合いや政権交代による中断などを経て、計画から68年後の令和2年3月31日にダムが完成しました。



ハッ場ダム



遊びの基地NOA(川原湯温泉駅キャンプ場)

◆ハッ場ダム周辺地域振興事業等【長野原町】

令和3年3月までに地域住民が中心となって運営する全ての地域振興施設が完成し、今年度がハッ場ダム周辺地域の本格的な生活再建・地域振興の始まりの年となっています。

地域振興施設の1つである「遊びの基地NOA」は、JR川原湯温泉駅に隣接し、ダム湖(ハッ場あがつま湖)に面した立地を活かし、道具を用意しなくてもキャンプ・バーベキュー・カヌーなど様々なアクティビティを楽しむことができ、カフェや日帰り温泉施設「笹湯」・観光案内所も併設された複合施設です。

また、長野原町では、「人」「地域」「官」「民」をつなぎ、観光振興や地域振興活動を支援するための組織「(一社)つなぐカンパニーながのはら」(つなカン)が設立され、町の課題や企画などを語り合う「つなカンミーティング」、提案企画に資金援助やアドバイスなどを行う「つなカンチャレンジ」、地域振興・観光振興の人材育成、「都市・地域再生等利用区域の利用制度(河川空間のオープン化)」を活用したダム周辺の公共空間の民間活用などを推進しています。



ダム周辺キッチンカー出店(河川空間のオープン化)

3 東毛コース(高崎市・伊勢崎市・太田市方面)

◆高崎アリーナ(高崎駅周辺都市再生整備計画事業)【高崎市】

平成29年4月にオープンした「高崎アリーナ」は、JR高崎駅西口から徒歩約10分の位置にあり、恵まれた立地を最大限活かすために、ゆとりあるメインアリーナの広さを確保することはもちろん、選手控室や大会本部室、会議室などの諸室を充実させることで、全国大会や国際大会の開催を可能とし、一流選手や大勢の観客が集まるような大会を誘致しています。スポーツを通じて人々が集まり、まちなか全体に賑わいと交流を生み、市全体の発展につながるような高い集客力を持つ施設となっています。



◆高崎芸術劇場(高崎駅周辺都市再生整備計画事業)【高崎市】

高崎芸術劇場は、JR高崎駅東口から徒歩約5分の位置にあり、駅から延伸したペDESTリアンデッキで直接つながり利便性を高めることで集客を促し、高崎アリーナとともに、都市の集客装置の両翼を担う施設です。

本劇場は、都市再生整備計画事業(高崎駅東南地区H25~28及び高崎駅東口周辺地区H29~R2)と暮らし・にぎわい再生事業(高崎駅東口地区H26~31)において、地域の「文化力・市民力・産業力」の向上により都市ブランドを確立し、地域内外の交流人口を増大させ、集客都市として持続可能なまちづくりを目的に整備されました。大劇場は幅広い演出に対応できる最新鋭の舞台装置を備えた高機能な多目的ホールです。広大な舞台は、様々な大型の演奏会や舞台公演を実現し、国内最大級の舞台間口の広さは、臨場感を増大させ観客と舞台の一体感を生み出します。



◆伊勢崎駅連続立体交差事業・駅周辺土地地区画整理事業【伊勢崎市】

伊勢崎駅は、JR両毛線と東武伊勢崎線の2路線が交わる交通結節点です。両路線は伊勢崎市中心市街地をYの字状に通っているため、市街地の分断や踏切遮断による交通渋滞が発生し、市街地の発展を妨げる要因となっていました。

この状況を抜本的に解決するため、伊勢崎駅付近の鉄道を連続立体交差事業により高架化し、20箇所の踏切を取り除くことで、市内の渋滞解消や緊急車両の円滑な走行を確保することができました。また、中心市街地にふさわしい地区として発展させるため、駅前広場及びそれに接続するシンボルロード等の各種公共施設の整備改善や駅周辺の高度有効利用、中心商店街の活性化を目的として、伊勢崎市施行の伊勢崎駅周辺土地地区画整理事業を実施しています。



◆金山総合公園(県立都市公園)【太田市】

県立金山総合公園は、太田市の北部に位置し、昭和54年の「国際児童年」を記念して整備された都市公園で、平成3年5月に開園しました。「ぐんまこどもの国」の愛称で親しまれ、子どもたちが遊びを通して「豊かな心」「健康な体」「考える力」を育み、家族と共に利用できる公園として、県内のみならず県外からも多くの方が来園しています。公園の中には、わんぱく広場・ダイナミック広場・自然ふれあいゾーン・ふれあい工房等が整備されており、広く県民に親しまれている公園です。



◆太田市美術館・図書館(太田市中心市街地地区都市再生整備計画事業)【太田市】

太田市の玄関口である太田駅駅前に文化交流施設(美術館・図書館)を設けることで、市民及び来街者が芸術・文化に触れやすい環境を作り出し、市内外から中心拠点へと人々を呼び込んでいます。さらに、本施設と既存施設とのネットワーク化を図って相乗効果を生み出し、人の回遊を促進させることでまちの活性化に繋げ、中心市街地の魅力アップと都市の再構築を図りました。

